

マナビィ

マナビィといっしょにおつかいすごろく せつめいしょ



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 よういするもの

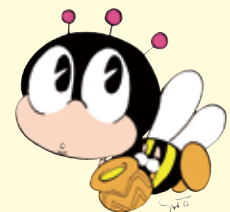
- ① すごろくばん
- ② おつかいかんりシート
- ③ おつかいきろくシート
- ④ クイズカード
- ⑤ サイコロ
- ⑥ コマ
- ⑦ ひっきょうぐ

しゅんぴ
< 準備 >

①～⑥は、もんぶかがくしやう文部科学省ホームページからダウンロードできるよ。
ひつよう ふん いんさつ必要な分を印刷しましょう。⑦は、じぶん ようい自分で用意しましょう。

もんぶかがくしやう
文部科学省ホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/syuhisha/

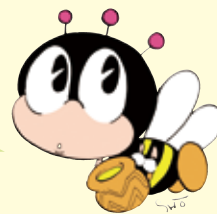


「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 ストーリー

あした
明日はまちにまった遠足だ。
おうちの人から、遠足で食べるお弁当のざいりょうと
おかしを買ってくるように、おつかいをたのまれたよ。
もらったお金をやりくりして、買い物をしておうちにもどろう。



べんとう
どんなお弁当にしよう？



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 ～ おつかいのルール ～

あした えんそく た べんとう ざいりょう
明日の遠足で食べたいお弁当の材料と
おかしを買ってね。

- ルール 1 ・ 1000 円 をもらって、おつかい。
- ルール 2 ・ お弁当の材料には、おかず と やさい を必ず買う。
- ルール 3 ・ おかし は 300 円 まで。

「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 であそぶまえに

◎ おつかいのルールをおぼえたら、「おつかい
かんりシート」に買いたいものに○をつけよう。

※ただし、スーパーでの買い物は、
○をつけたものでなくても買う
ことができるよ。



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

1

スーパーでは、止まったマス目にあるしな
ものを「かう」か「かわない」かをえらぼう。



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

2 スーパーの入口と出口は **みんなストップ!**
かならず **必ず止まって、クイズ** にこたえよう。



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

3 買ったときは、「おつかいかんりシート」と
「おつかいきろくシート」に記入しよう。

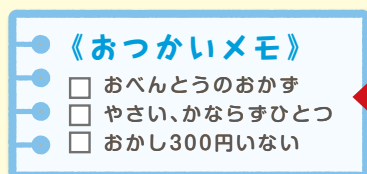


「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 のあそびかた

4

チェックのマスをとおったら、おつかい
ができたかかくにんしよう。

たのまれたものを^か買えたら、^{でぐち}出口にすす
もう。まだ^か買う場合は、^{ばあい}もう1周^{しゅう}まわろう。



かかくにん

おつかい^{でぐち}ができたなら、^{でぐち}出口へ



「マナビィといっしょにおつかいすごろく」で わかったこと

① ひつようなモノ？ ほしいモノ？

かならず^か買わなくては^いけないモノ（おかず、やさい）と、たくさん^ほしくて^なってしまうモノ（おかし）があったね。ひつようなモノは、ほしいモノより^さきに^えらぶと
いいことが^わかったかな？

② お^かい^{もの}物は^けい^かくして、^そして^きろく^しよう

「おつかい^かんり^{もの}シート」のように、^かい^{もの}物する^ま前に^けい^かくすると、^じょう^ず上手に^かい^{もの}買
物^のができるよ。買ったモノを^きろく^することも大切。ちゃんと「おつかい^きろく^シート」
に^か書^けたかな？

③ ^じぶん^じ分で^えら^べる^よう^にな^ろう

自分^じぶん^じで^いろ^いろ^かんが^か考えて^か買^えたかな？お友^とだ^ちが^か買^ったモノ、^か買^った理由^りゆう^きを^きいて^も面^おしろ
かもね。き^ちん^と考^かえて^か買^うことが^たい^せつ大切だよ。



マナビィ

マナビィといっしょにおつかいすごろく ～ 保護者の方へ～



「おつかいすごろく」での「学び」を 生かすために…



① 必要なモノ？ 欲しいモノ？

お弁当の「おかず」「やさい」は必要なモノ、そしてお菓子は欲しいモノとして、限られたお金の中でのやりくりを学びました。必要なモノは、欲しいモノに優先して選ばなくてはいけません。日常生活の中でも、「必要なモノ？欲しいモノ？」といった問いかけをして、買う前によく考えさせることが大切です。

② 買いものは計画して、そして記録しよう

あらかじめ計画して“おつかい”に挑むと、予算どおりに買い物ができることがわかりました。子どもがお金を使う場面では、まず計画してから買うように提案しましょう。また、お金を何に使ったのか、しっかり記録する習慣もつけさせましょう。

③ 自分で選べるようになろう

「おつかいすごろく」では自分なりの考えで買い物をすることができました。

現代社会においては、限られた資源や環境の中で豊かな生活を維持していくために、個人個人が環境や社会への影響を考えて消費できる「消費者市民」であることが求められています。子どもが、自分のみならず、市民として責任を持った選択ができるよう、日々の生活の中でも、よく考えて「自分で選ぶ」機会を与えていくことも必要です。

「消費者教育」は、まず日常生活から



消費者としての「学び」は、日常生活の中に…

「おつかいすごろく」の前半部分のマスには、「消費者教育」のテーマを広く盛り込んでいます。実に多岐にわたりますが、どれも日常生活に密接に関係していることがわかります。



親がどう考えて、どのように行動しているのかを、日頃から言葉にしたり、子どもに問いかけたり、話し合ったりすることで、子どもは消費者としての力を日常生活の中で養うことができます。

子どもがだまされないためだけでなく、自主的・合理的に行動できるように支援してあげてください。

家庭での「消費者教育」のヒント



消費者教育の分野ごとに、ご家庭で子どもと考えるヒントの一部を掲載します。日頃の生活の中で、教えたり、話し合ったりしてみましょう。

<基本的な消費行動>

- 1 カ月のおこづかいの使い道を一緒に考える
- 買い物に出かけた際、購入にはお金が必要であることを教える
- お小遣い帳をつけさせる 等

<安全の確保>

- コンロなど身近な製品の正しい使い方を教える
- パソコンや携帯電話などを使用する際には、家庭でのルール作りをする 等

<商品情報の理解>

- 製品基準や環境に関するマークについて気付かせる 等

<選択>

- 子どもが購入する際、本当に必要なものか、必要な量か、予算の範囲内かなどをよく考える習慣をつけさせる
- モノを購入する際には、品質や環境への影響などについて話しあう 等

<被害の救済>

- 生活上でトラブルが起きたときに、家族に相談する習慣を身につけさせる 等

<環境及び社会的影響の理解>

- 食事の際に、食の知識や国内外の食糧事情について話す
- 地域の環境保全活動と一緒に参加する
- 非常時の行動について、話し合う 等

消費者教育関係WEBサイト



■「マナビィといっしょに おつかいすごろく」のダウンロードは…

→ 文部科学省「消費者教育の推進について」

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/syouthisha/

■「消費者教育」の情報は…

→ 消費者庁「消費者教育ポータルサイト」

<http://www.caa.go.jp/kportal/index.php>

■消費生活・消費者問題の情報は…

→ 国民生活センター ホームページ

<http://www.kokusen.go.jp/>

「マナビィといっしょにおつかいすごろく」 ワークショッププラン例

◇概要◇

実施日	24年 1月 7日(土) 11時00分～11時45分
会場	横浜市内の商業施設
講座対象者	小学生とその保護者
予定受講者数	10組20名程度
講座名	ゲームで学ぼう！お金の使い方 ― 机上ですごろくバージョン ―
目的	(1) 物を選択し、お金と交換するという消費活動の基本的な形を学ぶ。(子) (2) 必要なものとほしいものを予算の範囲内で購入するという習慣を身につける。(子) (3) 消費活動にとって必要な事項を理解し身につける。(子) (4) すごろくを通して子どもの行動を把握し、家庭での実践に活かす。(保護者)
留意点	参加者は事前登録による。

◇当日のタイムスケジュール◇

時間配分	内容	留意点	用意するもの
準備	・すごろく、ワークシートをあらかじめ机に配付しない。脇に用意。 ・親子2組ずつ(4、5名)で一つの机に座ってもらう。	(事務局) 事前にリストを作成しておく。 (事務局) 随時親子を案内する。	すごろく一式、ワークシート、筆記用具
導入 11:00～11:05	・つかみ(お正月、何で遊んだ等) ・すごろく(おつかいのルール)の説明	(講師) ホワイトボードに貼り付けたすごろくを指しながら、説明。 (講師) おつかいのルールをパワポ資料を指しながら説明。 (講師) 最後に、ルールを理解したかどうか子どもに手を挙げさせ、確認する。 (講師) できる限り親にもすごろくに参加してもらうよう促す。 (事務・アシスタント) 説明が終わったら、すごろく一式、ワークシートを各机に配る。	ホワイトボード、すごろく(掲示用)、パワポ資料 すごろく一式、ワークシート
展開 11:05～11:15	・おつかいで何をかうか考える。	(講師) ワークシートに買い物計画を記入させる。 (講師) 見回りながら、適宜フォロー。	ワークシート、筆記用具

11:15~11:35	<ul style="list-style-type: none"> ・すごろくの遊び方の確認。 ・各机ですごろくをやる。 	<p>(講師) すごろくを始める前に、遊び方を確認する。</p> <p>(講師) 低学年児童のために、計算方法を確認する。</p> <p>(保護者) 適宜子どもの手助けをしてもよいが、買うか買わないかの判断は子どもに任せるようにさせる。</p> <p>(講師・事務・アシスタント) ゲームの進め方について、参加者がとまどっていたりしたら、適宜フォロー。</p>	<p>パワポ資料</p> <p>すごろく一式</p>
<p>まとめ</p> <p>11:35~11:45</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほしいお菓子はきちんと買えたか聞く。 ・アンケート 	<p>(講師) 一番早くゴールした子や最後にゴールした子などまんべんなく聞く。</p> <p>(講師) 欲しいものが買えたかどうかを尋ねながら、必ずしも欲しいもの全てが買える訳ではないことを伝える。</p> <p>(講師) 上手に買い物するコツを伝える。(あらかじめお菓子分のお金は分けておくとか)</p> <p>(講師) 保護者に対するアドバイスも盛り込む。</p> <p>(事務・アシスタント) アンケート配付</p> <p>(事務・アシスタント) 回収して、退場させる。</p> <p>(事務・アシスタント) おみやげにお小遣い帳を配る。</p>	<p>パワポ資料、PC、プロジェクター又は薄型TV</p> <p>アンケート、筆記用具、回収箱、おみやげ(お小遣い帳)</p>